



国土交通省

# 清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト 御前崎港 西埠頭 多目的ターミナルの整備

(1994~2004)



1990年代に入り、世界経済のグローバル化、アジア諸国の経済成長が進む中、国際物流における海上コンテナ輸送は増加の一途をたどりました。

当時、静岡県コンテナ輸出入拠点である清水港では、コンテナ取扱量が限界に近づきつつあり、増加するコンテナ需要に対応するために、新たに県中西部のコンテナ輸出入拠点として、御前崎港の整備が必要となりました。

これを受けて、1994年(平成6年)、御前崎港において、コンテナの取り扱いや大規模地震発生時の物流機能維持にも対応した、水深14mの多目的ターミナルを計画決定し、同年に工事着手しました。

2004年(平成16年)1月に、岸壁部の供用を開始し、御前崎港背後に立地する自動車産業等を支える物流拠点として、重要な役割を果たしています。

- 主要施設 / 西埠頭10号岸壁(水深14m、延長310m、耐震構造)、航路泊地(水深14m)
- 構造形式 / 西埠頭10号岸壁: 重力式岸壁
- 事業期間 / 1994年(平成6年)~2004年(平成16年)



工事中の御前崎港西埠頭  
(1979年4月)



西埠頭1~2号岸壁完成時  
(1985年1月)



西埠頭10号岸壁(多目的ターミナル)供用開始時  
(2004年1月)



現在の御前崎港西埠頭  
(2021年2月)



岸壁本体(ケーソン)の据付作業  
(2001年11月)



岸壁への防舷材の取付作業  
(2003年1月)



完成後の西埠頭10号岸壁  
(2003年12月)

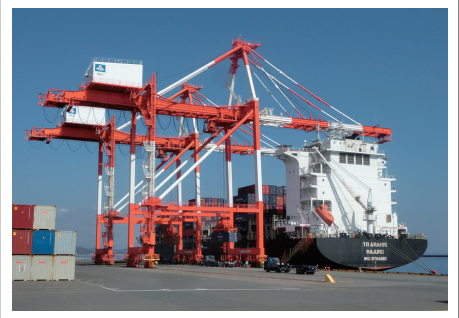


西埠頭多目的ターミナル供用開始式典  
(2004年1月31日)

## 西埠頭多目的ターミナルの利用状況



御前崎港の外航定期コンテナ航路第1船が入港  
(2004年10月)



コンテナの積み下ろし  
(2021年3月)